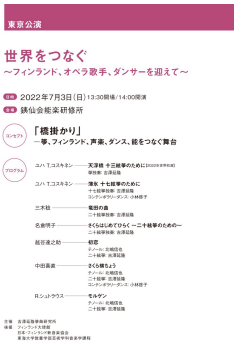
ノブラボ・コンサート・キャラバン2022

公演開催中！



KOTO-NOBU-LOG.

「おとみっく」のお二人と！

6月12日に、音楽ワークショップ・アーティスト「おとみっく」の坂本夏樹さん、桜井しおりさんをお迎えしたノブラボ・コンサート・キャラバン２０２２神奈川公演『KOTOで遊ぼ！～音楽ワークショップ・アーティストを迎えて～』を開催しました！

コロナ禍の中で思い立ったコンサート・プロジェクト「ノブラボ」が、開催2年目にして素晴らしいアーティストを迎えられることに感謝するとともに、ご来場頂きましたお客様に、心より御礼を申し上げます。

来場者参加型セッション「KOTOで遊ぼ！」

今回の神奈川公演は、「遊ぶ」をコンセプトに子供から大人までが箏のコンサートに足を運び、家族で箏曲コンサートを楽しむという目的を持って制作しました。公演は休憩なしの70分間、前半は“遊び心”を持って作曲された作品を見聞きし、後半は音楽ワークショップ・アーティストと共に、お客さまが音楽セッションに加わるという「観る」「聴く」「参加する」の3つを1つの公演で楽しんでもらう内容となっておりました。

子供の遊ぶ情景がイメージされる宮城道雄作曲の「かくれんぼ」「汽車ごっこ」で始まり、微分音という“十二平均律”の半音よりも狭い音程の持つ揺らぎや重なり、「コト柱を越えた左側の無調側」の音程もメロディに活用しコト柱を跨いだ左右の弦を演奏する溝入敬三作曲《マイクロトーンズ・スタディ》、楽器演奏の特長を存分に盛り込み箏曲に可能なまでのピアニスティックな領域をもたらした沢井忠夫作曲《鳥のように》を私自身の曲解説MCを挟みながら演奏しました。

特に、公演タイトルにもした後半の来場者参加型セッション《KOTOで遊ぼ！》は、箏曲の代表的な名曲である《六段の調》《春の海》をモティーフにアイスブレイクから始まり、ボディパーカッション、コール&レスポンス、ハミング、ステップによるダンスで締めくくる約20分間の短いワークショップ・コンサートのスタイルで「おとみっく」のお二人と今回のために制作しました。

公演後のアンケートにも、この参加型セッションが印象に残ったという感想も多く、これからの邦楽界にも必要なスキルであり、めまぐるしく動いている社会の中で、これまで自分が専門にしてきた楽器や音楽をどう活かしていくのか考えはじめた6年間の1つの区切りができた気がしました。

次は、いよいよ7月3日の東京公演！！一人でも多くのご来場をお待ちしています！！

『世界をつなぐ 』
～フィンランド・オペラ歌手・ダンサーを迎えて～

2022年7月3日（日）14:00開演
@銕仙会能楽研修所
「表参道」駅A4出口より徒歩3分